

とやまの持続可能な発展：若者の視点から

石黒詩歩 河島郁弥 服部公亮

卒業研究（工学部 環境・社会基盤工学科 中村研究室）

SDGs

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている



射水市の災害レジリエンス強化に向けて（石黒）

背景・目的

令和6年能登半島地震を経て、災害対策が改めて重要視されている。富山県は1992年～2021年の震災回数が全国最少(1)であり、**災害対策が不十分である可能性**がある。そこで今後起こるかもしれない災害に備えて**射水市の災害レジリエンスを強化するには何が必要か**明かにすることを目的とした。

レジリエンスとは

レジリエンスとは災害が起こったときに**予防力・順応力**をいかして適切に対処し、地域集団や個人が**回復**していく力のこと。

研究方法及び現在までの成果

- 調査① <過去の震災のショック・リカバリーの確認>
東日本大震災で被害を受けた宮城県の3市町（仙台市・栗原市・女川町）の人口・労働力率・失業率・市内総生産の推移の調査
- 調査② <オリジナルレジリエンス指標の作成>
災害関連の情報や独自のアイデアをもとにオリジナルレジリエンス指標を作成
- 調査③ <富山県内3市で現状の防災レジリエンスの比較>
射水市・南砺市・氷見市の住民に防災に関する意識調査

関連するSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

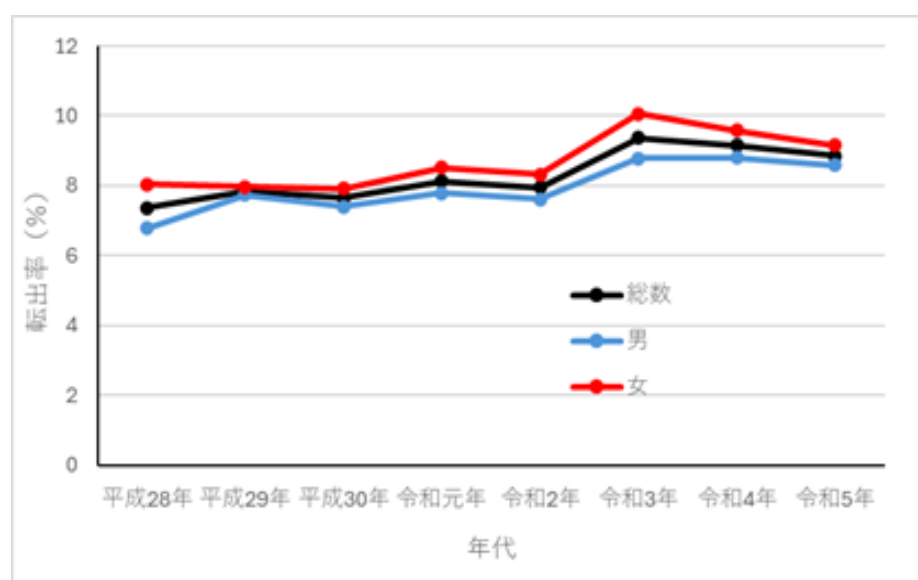
13 気候変動に具体的な対策を

11.住み続けられるまちづくりを
13.気候変動に具体的な対策を

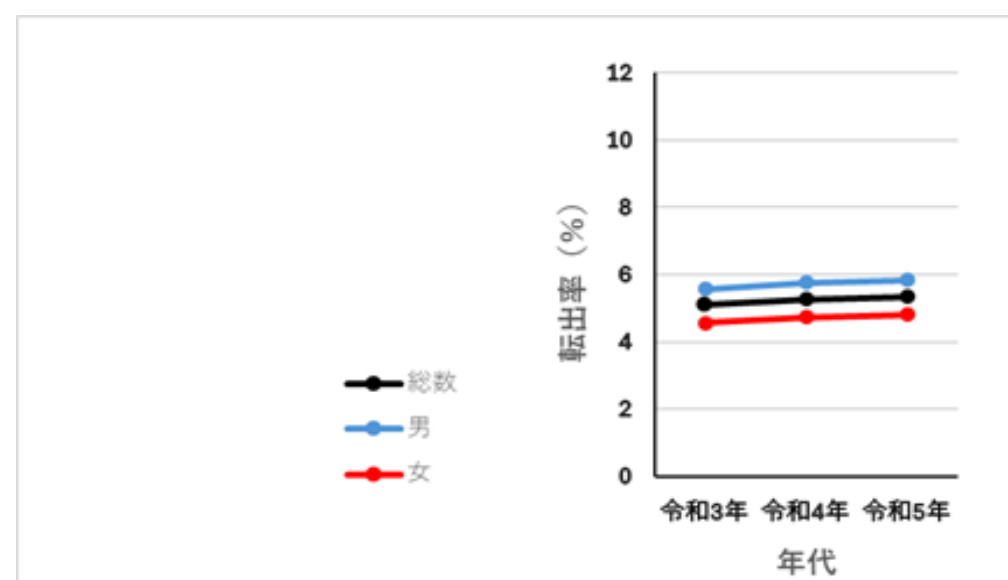
富山県における大学生の就職時における定着または流出の要因分析と提言の検討（河島）

研究上の問い

- ・大卒時、富山県と愛知県から流出する人はどれくらいか
→富山県の公開している20-24歳の流出者数、総人口から流出率を経年変化のグラフにした。また、比較対象として都市部の愛知県でも愛知県の公開しているデータで同じように流出率をグラフにした
- ・富山県の大学生の地元定着（流出）の規定要因はなにか
→経済要因、社会要因、環境要因、その他の個人要因に分け、文献レビューによって規定要因候補を選定し、その要因がどこまで解明されているか文献レビューにより調査した
- ・（現在の研究）富山県の女子大生の生きづらさは定着（流出）に影響するのか



富山県の日本人の20-24歳の流出率経年変化



愛知県の日本人の20-24歳の流出率経年変化

- ・やはり富山県は都市部である愛知県よりも流出率が高い
- ・地方である富山県では女性の方が男性より流出率が高いが、都市部である愛知県では男性より女性の方が流出率が高くなっていた
- 女性は都会志向が強いのか地方から出ていかざるを得ない理由があるのか？

現在の進捗

転出に影響する女性の生きづらさへの寄与因子の作業仮説を主観、客観かつ生存、生活尊厳に分けて表にまとめアンケート調査を行った。

	仮説	対象
主観	生存	
	生活	
客観	尊厳	
	生存	
	生活	
	尊厳	
	生存	
	生活	

【関連するSDGsゴール】

5 ジェンダー平等を
実現しよう

11 住み続けられる
まちづくりを

生存	悩みを安心して話せる場の充実
生活	近所の人たちと話す機会 実際悩みを抱えている若い女性の数
客観	女性の就職したい職業の不足
	何かの決定をする際の発言権
	女性が男方で男性が妻という風習
	女性は地元に残るべきということを見聞きした経験
	男性は仕事、女性は家事を優先すべきと思っている人の数
	女性がするべき職業があると見聞きした経験
尊厳	女性らしさを求められる経験
生存	地元の集まりでお茶入れや準備などを女性がする風習
生活	家庭での性別役割
尊厳	親や親せきから進路や結婚についての口出しされた経験
生存	女性の議員数
生活	女性教員の数
尊厳	女性の管理職の数



協働相手

PECとやま・世界共通目標SDGsを達成するため、富山県の市民団体、企業、大学、個人等のメンバーが集まって結成したローカルプラットフォーム。

富山県での異世代ホームシェア事業の可能性（服部）

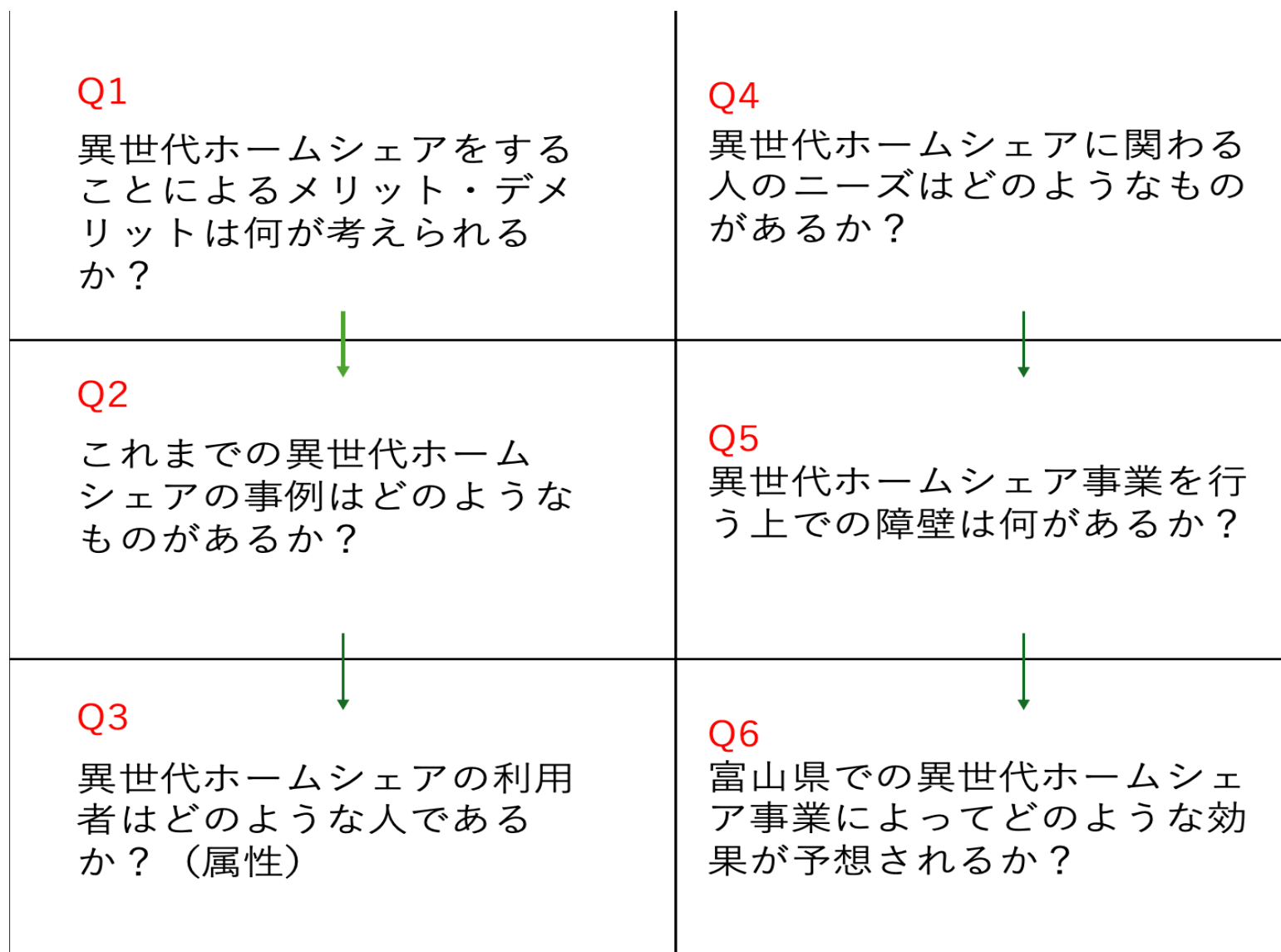
1. 異世代ホームシェアとは？・・・

子供の独立等で、空き部屋がある高齢者の住宅に、若者が同居し、共同生活を送る住まい方である。



資料) NPO法人リブ&リブ

2. 研究の流れ



3. 現在までの成果

富山県で、実際に異世代ホームシェア事業を行う場合の事業者の候補や利用者の候補への意向調査（アンケート形式）を実施した。

事業者側候補 富山県・富山市・射水市・高岡市

利用者候補 太閤山，南太閤山，中太閤山地区の高齢者の方

関連団体候補 富山県社協 富山市社協 射水市社協

高岡市社協 富山県立大学 富山大学

※回答が得られていない団体も含む

4. 【関連するSDGsゴール】



取り組みで得た学び

【射水市の災害レジリエンス強化に向けて】

- 射水市で生まれ育ったがまだまだ知らないことがたくさんあることを研究を通して実感した。
- 過去の災害について調べることで、直接研究には関連していなくても災害に備えるために必要な情報を目にすることが多かったため、私生活での防災意識も高まった。
- 今までアンケートに答えることはあっても作ることにはしたことが無く、初めての経験だったため、質問文作成からデータ整理までを通して学びがとても多かった。

【富山県における大学生の就職時における定着または流出の要因分析と提言の検討】

- 研究というものをしてみて、自分の想像した結果が得られるわけではなく、様々な結果が出てきて、そのグラフや数値のばらつきを観察するだけのおもしろいなと思った。
- アンケート調査では様々な可能性を考慮したり、回答者の分かりやすい表現にしたり大変だったが学びが多かった。

【富山県での異世代ホームシェア事業の可能性】

- 富山県の自治体に意向調査を実施したことで、異世代ホームシェアへの懸念点や良い点、今後の可能性について実際の意見を聞くことができた。
- 太閤山の住民の方へ対面でのアンケートを実施できたおかげで研究に関すること以外の気づきも得られた。

参考文献

(1) 富山県ホームページ「安全・安心な港湾」

<https://www.pref.toyama.jp/1504/kendodukuri/dourokouwan/port/feature/disaster.html>

（最終閲覧日：2025年1月10日）